

5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物の生息状況

動物相の状況

計画路線周辺では、「河川水辺の国勢調査」(平成15～17年度 国土交通省)、「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年 環境庁)、「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」(平成4年3月 神奈川県)、「横浜の川と海の生物(第10報・河川編)」(平成16年2月 横浜市環境保全局)、「横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書」(平成11年3月 横浜市環境保全局)、「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」(平成6年10月 鶴見川流域自然環境調査会)、「高速横浜環状北線 ヨコハマナガゴミムシ保全対策検討会議事要旨」(平成14年 首都高速道路公団)、「横浜の川と海の生物(第11報・河川編)」(平成18年3月 横浜市環境創造局)により、動物相の調査が行われています。

計画路線周辺で確認された動物相は表3.1-38に示すとおりであり、哺乳類ではイタチ等8種が、鳥類ではヒヨドリやチョウゲンボウ、チュウサギ等81種が、両生類・爬虫類ではトウキョウダルマガエル、カナヘビ等9種が、多足類を含む昆虫類では、オニヤンマ、ヒメナガカメムシ、ヨコハマナガゴミムシ、ハナグモ等643種が、魚類ではボラやマハゼ、ヌマチチブ等35種が、底生生物ではサホコカゲロウ等111種が、陸産貝類等ではテナガエビ、キバサナギガイ等の17種が確認されています。

表 3.1-38 計画路線周辺で確認された動物相

分類	確認種数
哺乳類	8
鳥類	81
両生類・爬虫類	9
昆虫類	643
魚類	35
底生生物	111
陸産貝類等	17

出典：「河川水辺の国勢調査」(平成15～17年度 国土交通省)
 「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年 環境庁)
 「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」(平成4年3月 神奈川県)
 「横浜の川と海の生物(第10報・河川編)」(平成16年2月 横浜市環境保全局)
 「横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書」
 (平成11年3月 横浜市環境保全局)
 「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」
 (平成6年10月 鶴見川流域自然環境調査会)
 「高速横浜環状北線 ヨコハマナガゴミムシ保全対策検討会議事要旨」
 (平成14年 首都高速道路公団)
 「横浜の川と海の生物(第11報・河川編)」(平成18年3月 横浜市環境創造局)

重要種及び注目すべき生息地の状況

計画路線周辺で確認された動物相について、表 3.1-39 に示す資料より重要種の選定を行いました。選定を行った結果、計画路線周辺で確認された重要種は表 3.1-40 に示すとおりであり、哺乳類が 1 種、鳥類が 3 種、両生・爬虫類が 2 種、昆虫類が 2 種、魚類が 6 種、底生生物が 2 種、陸産貝類等が 2 種です。

計画路線周辺では、環境省レッドリストによる絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)のキバサナギガイ、同じく絶滅危惧Ⅱ類(VU)のセイタカシギ及び神奈川県レッドデータ生物調査報告書による準絶滅危惧種(NT)のスミウキゴリ等が確認されています。

なお、計画路線周辺では、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号)による「国内希少野生動植物種」は確認されていません。また、注目すべき生息地として、図 3.1-23 に示す地域でホタルの生息地が確認されています。

表 3.1-39 動物の重要種の選定基準

出典	基準(ランク)
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)	・国内希少野生動植物種
「文化財保護法」 (昭和25年5月30日 法律第214号)	・史跡名勝天然記念物
「神奈川県文化財保護条例」 (昭和30年4月1日 神奈川県条例第13号)	・県指定史跡名勝天然記念物
「横浜市文化財保護条例」 (昭和62年12月25日 横浜市条例第53号)	・市指定史跡名勝天然記念物
<p>「レッドリスト」(環境省 報道発表資料)</p> <p>平成18年12月公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爬虫類・両生類 ・鳥類 ・クモ形類・甲殻類等 <p>平成19年8月公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類 ・汽水・淡水魚類 ・昆虫類 ・陸・淡水産貝類 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅(EX) 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種 ・野生絶滅(EW) 飼育・栽培下でのみ存続している種 <絶滅危惧 = 絶滅のおそれのある種> ・絶滅危惧I類(CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 ・絶滅危惧IA類(CR) ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種 ・絶滅危惧IB類(EN) IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種 ・絶滅危惧II類(VU) 絶滅の危険が増大している種 ・準絶滅危惧(NT) 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、絶滅危惧に移行する可能性のある種 ・情報不足(DD) 評価するだけの情報が不足している種
「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」 (平成18年6月 神奈川県立生命の星・地球博物館)	<ul style="list-style-type: none"> ・減少種(減) 分布は広分布種であるが、分布が狭まり、個体数も減少している種 <付属資料> ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP) 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

減少種のランクは、神奈川県レッドデータ生物調査報告書のみ。

表 3.1-40 動物の重要種の確認状況

項目	目名	科名	種名	選定基準 ¹ 及びランク		確認地点 ³	出典資料 ⁴
				A ²	B ²		
哺乳類	ネコ	イタチ	イタチ		NT		
鳥類	コウノトリ	サギ	チュウサギ	NT	NT		
	ワシタカ	ワシタカ	ハイタカ	NT	NT		
	シギチドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	VU	EN		
両生類 ・ 爬虫類	カエル	アカガエル	トウキョウダルマガエル	NT	VU		
	カメ	ヌマガメ	イシガメ	DD	CR + EN		
昆虫類	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	NT			
	コウチュウ	オサムシ	ヨコハマナガゴミムシ	CR + EN	EN		
魚類	コイ	コイ	コイ		DD		
			カマツカ		NT		
			マルタ		VU		
	スズキ	ハゼ	スミウキゴリ		NT		
	ウナギ	ウナギ	ウナギ	DD			
	ダツ	メダカ	メダカ	VU	CR		
底生生物	マルスダレガイ	シジミ	ヤマトシジミ	NT			
	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	DD			
陸産貝類等	マイマイ	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	NT			
		キバサナガイ	キバサナギガイ	CR + EN			

1 選定基準は、以下のとおりです。

A:「レッドリスト」(環境省 報道発表資料)

B:「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」

(平成 18 年 6 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)

2 A、B の選定基準のランクは、以下のとおりです。

絶滅 (EX): 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW): 飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR + EN): 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 IA 類 (CR): ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧 IB 類 (EN): IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧 II 類 (VU): 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT): 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、絶滅危惧に移行する可能性のある種

情報不足 (DD): 評価するだけの情報が不足している種

減少種 (減): 分布は広分布種であるが、分布が狭まり、個体数も減少している種

3 確認地点について 「 」: 出典資料に地点が明記されているもの。

「 - 」: 出典資料には目録のみで、調査地点が明記されていないもの。

4 出典資料

「河川水辺の国勢調査」(平成 15 ~ 17 年度 国土交通省)

「横浜の川と海の生物 (第 10 報・河川編)」(平成 16 年 2 月 横浜市環境保全局)

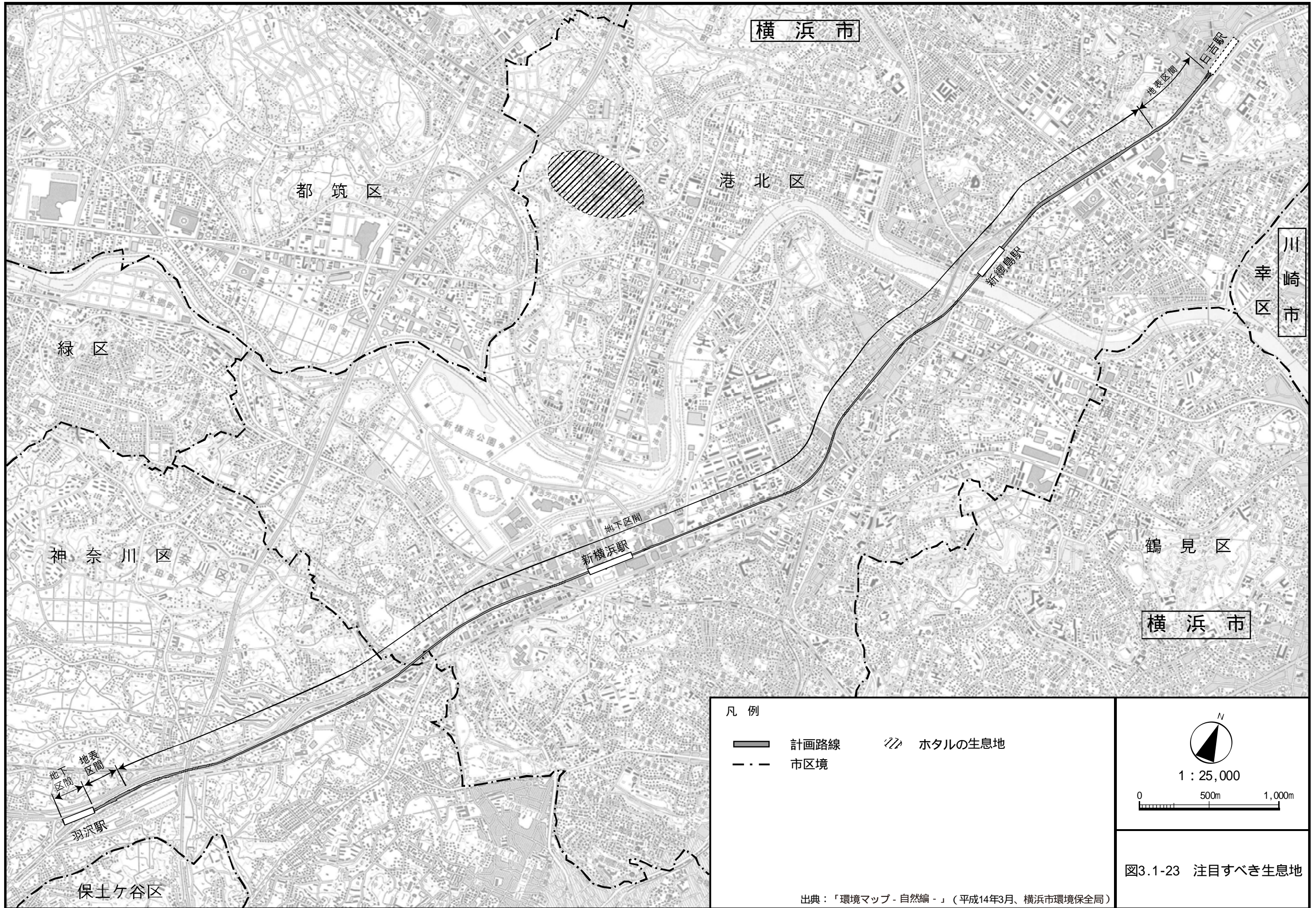
「横浜の川と海の生物 (第 11 報・河川編)」(平成 18 年 3 月 横浜市環境創造局)

「横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書」(平成 11 年 3 月 横浜市環境保全局)

「高速横浜環状北線 ヨコハマナガゴミムシ保全対策検討会議事要旨」

(平成 14 年 首都高速道路公団)

「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」(平成 6 年 10 月 鶴見川流域自然環境調査会)



(2) 植物の生育、植生の状況

植生及び植物相

計画路線周辺では、「河川水辺の国勢調査」(平成13年度 国土交通省)、「横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書」(平成11年3月 横浜市環境保全局)及び「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」(平成6年10月 鶴見川流域自然環境調査会)により植生調査が行われています。

計画路線周辺で確認された植物相は表3.1-41に示すとおりであり、シダ植物ではスギナ等14種が、裸子植物ではクロマツ等5種が、被子植物ではオニグルミ、ネズミモチ、スタジイ等279種が、蘚苔類ではナミガタチゴケ等12種が、地衣類ではダイダイゴケ等2種が、菌類ではスエヒロタケ等14種類、合計326種が確認されています。

また、計画路線周辺における植生の状況は、図3.1-24に示すとおりであり、計画路線周辺にはクヌギ-コナラ群集、コナラ-オニシバリ群集や畑地雑草群落が多く、ヒノキ・スギ・サワラ植林やアズマネザサ-ススキ群集も一部見られ、鶴見川河川敷ではヨシクラスも確認されています。

表 3.1-41 計画路線周辺で確認された植物相

分類			確認種数	
維管束植物	シダ植物		14	
	裸子植物		5	
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	66
			合弁花類	121
	単子葉植物		92	
蘚苔類			12	
地衣類			2	
菌類			14	

出典：「河川水辺の国勢調査」(平成13年度 国土交通省)
「横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書」(平成11年3月 横浜市環境保全局)
「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」
(平成6年10月 鶴見川流域自然環境調査会)

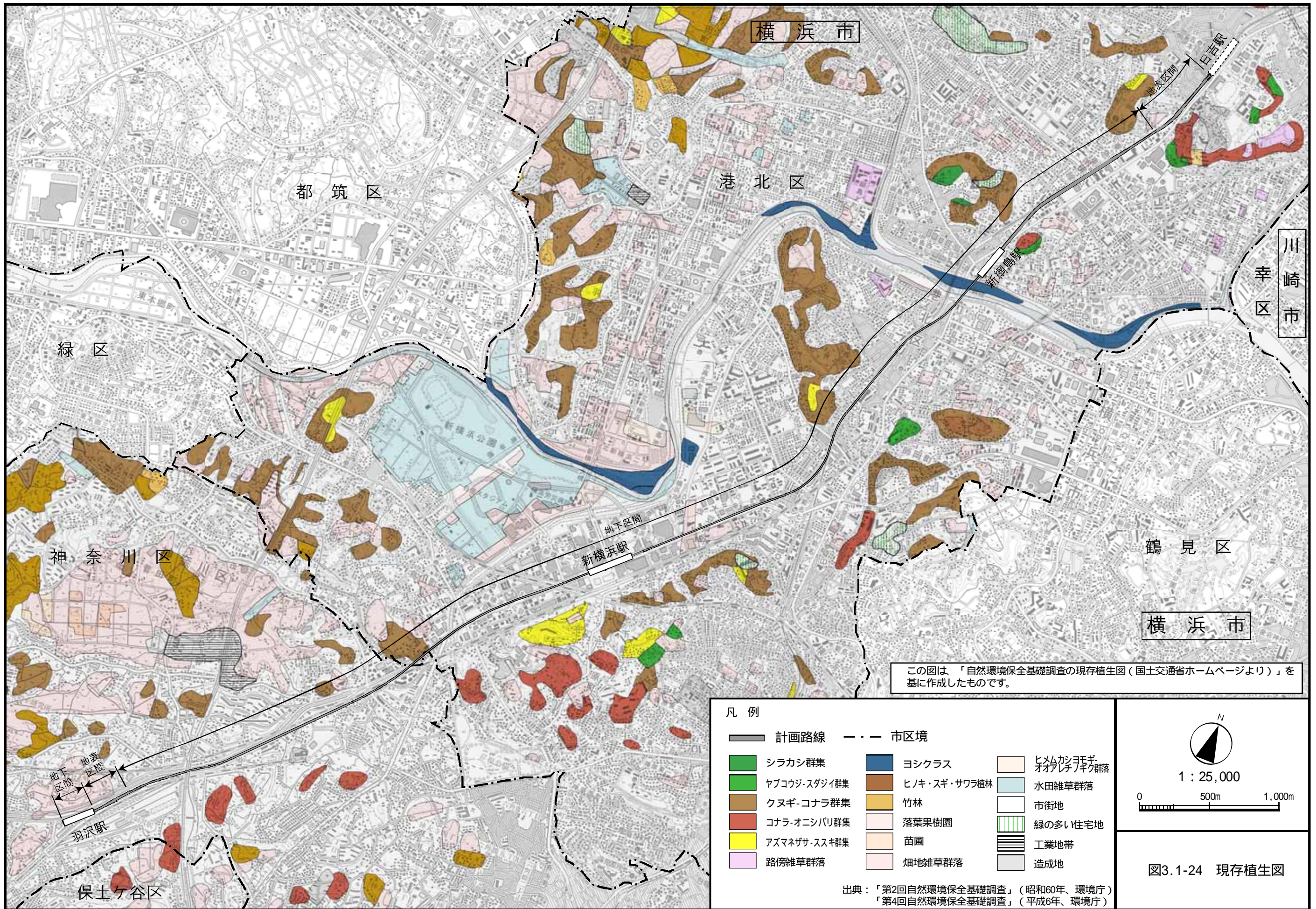


図3.1-24 現存植生図

重要な植物種及び重要な植物群落の状況

計画路線周辺で確認された種及び群落について、表 3.1-42 に示す資料より重要種の選定を行いました。選定を行った結果、計画路線周辺で確認された重要種は表 3.1-43 に示すとおりです。計画路線周辺では環境省レッドリスト絶滅危惧 類（VU）のカンエンガヤツリ、準絶滅危惧（NT）のタコノアシ等が確認されています。

また、計画路線周辺では、図 3.1-25 に示すとおり、重要な植物群落として師岡熊野神社の社叢林が確認されています。師岡熊野神社の社叢林は県指定天然記念物として指定されており、「針葉樹の植栽もみられず、各階層に常緑広葉樹の種群がバランスよく育成している」とされています。

表 3.1-42 植物の重要種の選定基準

出典	基準(ランク)
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)	・国内希少野生動植物種
「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号)	・史跡名勝天然記念物
「神奈川県文化財保護条例」 (昭和30年4月1日 神奈川県条例第13号)	・県指定史跡名勝天然記念物
「横浜市文化財保護条例」 (昭和62年12月25日 横浜市条例第53号)	・市指定史跡名勝天然記念物
「レッドリスト」(環境省 報道発表資料) 平成19年8月公表 ・維管束植物 ・維管束植物以外	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） <絶滅危惧＝絶滅のおそれのある種> ・絶滅危惧I類（CR＋EN） ・絶滅危惧IA類（CR） ・絶滅危惧IB類（EN） ・絶滅危惧II類（VU）
「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」 (平成18年6月 神奈川県立生命の星・地球博物館)	・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・減少種（減） <付属資料> ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
「植物群落レッドデータブック」 (平成8年4月 (財)日本自然保護協会、 (財)世界自然保護基金日本委員会)	・緊急な保護を必要とする植物群落
「第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 報告書」(昭和55年12月 環境庁) 「第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 報告書」(昭和63年8月 環境庁)	・代表的・典型的、代替性のないもの、あるいはきわめて脆弱であり、放置すれば存続が危ぶまれる植物群落

減少種のランクは、神奈川県レッドデータ生物調査報告書のみ。

表 3.1-43 植物の重要種の確認状況

項目	科名	種名	選定基準 ¹ 及びランク		確認 地点 ³	出典 資料 ⁴
			A ²	B ²		
双子葉植物	離弁花類	ユキノシタ科	タコノアシ	NT		
	合弁花類	シソ科	ミゾコウジュ	NT		
		ゴマノハグサ科	カワヂシャ	NT		
単子葉植物	カヤツリグサ科	カンエンガヤツリ	VU	EN		

1 選定基準は、以下のとおりです。

A:「レッドリスト」(環境省 報道発表資料)

B:「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」

(平成 18 年 6 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)

2 A、B の選定基準のランクは、以下のとおりです。

絶滅 (EX): 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW): 飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR + EN): 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 IA 類 (CR): ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧 IB 類 (EN): IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧 II 類 (VU): 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT): 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、絶滅危惧に移行する可能性のある種

情報不足 (DD): 評価するだけの情報が不足している種

減少種 (減): 分布は広分布種であるが、分布が狭まり、個体数も減少している種

3 確認地点について 「」: 出典資料に地点が明記されているもの。

「-」: 出典資料には目録のみで、調査地点が明記されていないもの。

4 出典資料

:「横浜市港北区域の鶴見川生物相調査報告書」(平成 6 年 10 月 鶴見川流域自然環境調査会)

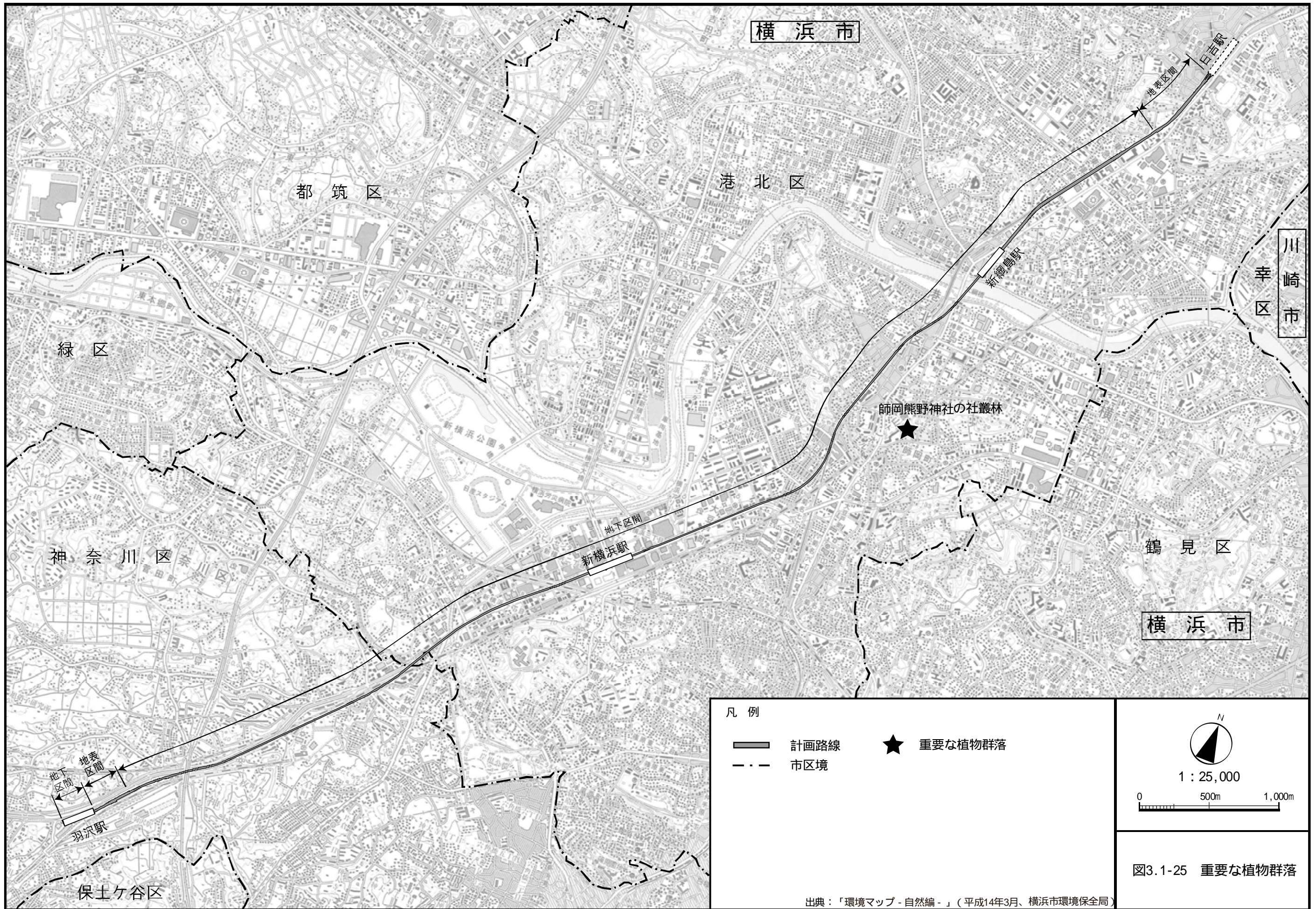


図3.1-25 重要な植物群落

出典：「環境マップ-自然編-」（平成14年3月、横浜市環境保全局）

(3) 生態系の状況

自然環境類型区分

計画路線周辺は、緑地保全地区などでクヌギ - コナラ群集などが、また、鶴見川河川敷でススキなどのヨシクラスが確認されていますが、大部分は開発が進み市街地となっています。自然環境類型区分は表 3.1-44 及び図 3.1-26 に示すとおりです。

表 3.1-44 計画路線周辺の自然環境の類型化

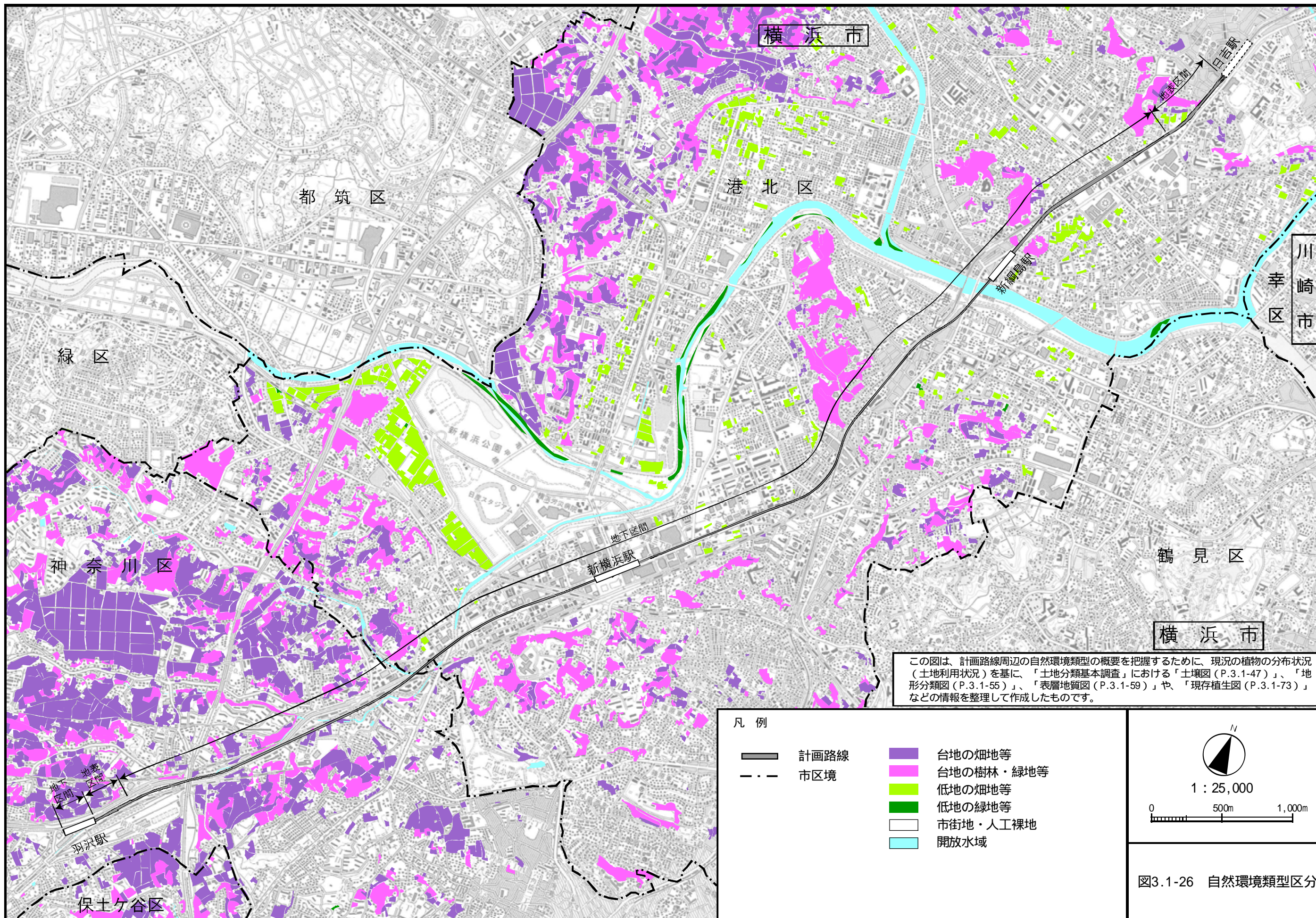
類型化区分		類型の特徴			
		地形の概況 ¹	地質の状況 ²	土壌の状況 ³	植物群落等の状況 ⁴
台地部	台地の畑地等	台地上に平坦な地形として形成されている	下末吉ローム層	厚層多腐植質黒ボク土	クヌギ - コナラ群集、畑地雑草群落
	台地の樹林・緑地等	山麓緩斜面、多摩段丘面群、下末吉段丘面群、などの台地を取り囲む比較的緩やかな斜面を中心に形成されている			竹林、クヌギ - コナラ群集、コナラ - オニシバリ群集、シラカシ群集
低地部	低地の畑地等	自然堤防、氾濫原、盛土地などの低地部に平坦な地形として形成されている	低湿地堆積物	厚層多腐植質多湿黒ボク土	畑地雑草群落、水田雑草群落
	低地の緑地等	自然堤防、砂州、盛土地などを形成している			ヨシクラス、クヌギ - コナラ群集
市街地・人工裸地		盛土地、道路等人工地形上に形成されている	下末吉ローム層・下末吉層、自然堤防及び砂州堆積物、武蔵野ローム層・武蔵野礫層、低湿地堆積物	大規模造成地、その他の人工改変低地土	公園、植栽木、雑草草地
開放水域		鶴見川	低湿地堆積物	-	-

1 地形の概況は、「図 3.1-20」(P.3.1-55)を基に整理しています。

2 地質の状況は、「図 3.1-21」(P.3.1-59)を基に整理しています。

3 土壌の状況は、「図 3.1-17」(P.3.1-47)を基に整理しています。

4 植物群落等の状況は、「図 3.1-24」(P.3.1-73)を基に整理しています。



自然環境類型区分の概要

計画路線周辺の自然環境類型区分の概要は、表 3.1-45 に示すとおりです。

計画路線周辺の大部分は、開発が進み市街地となっており、動植物の生息・生育地は、特別緑地保全地区等の樹林や果樹園、あるいは鶴見川河川敷などの低地の草地や一部水田、わずかに残っている樹林地帯が主体であると考えられます。これら生息域・生育環境では、クヌギやコナラなどの広葉樹や雑草などの植物が生産者に相当し、消費者は哺乳類や両生類・爬虫類、鳥類、昆虫類となります。

また、表 3.1-45 に示す主な動物相のうち、計画路線周辺での動植物の生息域・生育環境で一般的によく見られる動物種として、鶴見川河川敷やその周辺の畑地等での高次捕食者であるイタチなどの哺乳類、また、同様に高次捕食者であるサギ類などの鳥類が挙げられます。さらに、これら捕食者の餌であるとともに、鶴見川やその周辺等の水域を繁殖活動の場として利用しているアマガエル、アオダイショウ等の両生・爬虫類も注目種として挙げられます。

表 3.1-45 自然環境類型区分の概要

類型区分	生息・生育環境の状況	主な動物の状況	主な植物の状況
台地の畑地・草地等	畑地・果樹園内の雑草草地、土手、芝・雑草草地、ササ・ススキ草地	イタチ、タヌキ、チョウゲンボウ、スズメ、ムクドリ、ドバト、ハシブトガラス、ツユムシ、ミツカドコオロギ、モンシロチョウ、キアゲハ、コバネイナゴ	シバ、オオハコ、シロツメクサ、オヒシバ、スズメノカタビラ、シロサ、コハコバ、イヌタデ、ササ、ツクサ、ナズナ、カタハミ、セリ
低地の水田・草地等	畑地・果樹園内の雑草草地、土手、水田、畦畔等の雑草草地、用水路	イタチ、タヌキ、チョウゲンボウ、スズメ、ムクドリ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、カルガモ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、モンキチョウ、アマガエル、アオダイショウ	ススキ、ヨモギ、オオハコ、ヒデリコ、ミソソバ、ギンギク、タコノアシ、ヨシ
台地の樹林・緑地等	竹林、クヌギ - コナラ群集等の落葉広葉樹林、ヒノキ・スギ・サウラ植林等の針葉樹林	イタチ、タヌキ、アカネズミ、ヒヨドリ、シジュウカラ、コゲラ、アゲハ、ルリシジミ	スギ、ヒノキ、コナラ、オオハコ、スギナ、ヒメシヨオン、アズマネザサ
低地の緑地等	河川沿いの土手、川原の雑草草地	タヌキ、アカネズミ、ヒヨドリ、シジュウカラ、アゲハ、ルリシジミ、アマガエル、アオダイショウ	スギ、ヒノキ、コナラ、オオハコ、スズメノカタビラ、スギナ、ヒメシヨオン、アズマネザサ
市街地・人工裸地	公園、植栽木、雑草草地	イタチ、タヌキ、ハシブトガラス、スズメ、ムクドリ、メジロ、アオスジアゲハ、アブラゼミ	スズメノカタビラ、オオハコ、スギナ、ヒメシヨオン、セイヨウタンポポ
開放水域	開放水域	ダイサギ、チュウサギ、コサギ、カルガモ、ウナギ、コイ、ドショウ	タコノアシ、ヨシ

6) 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

(1) 景観資源の状況

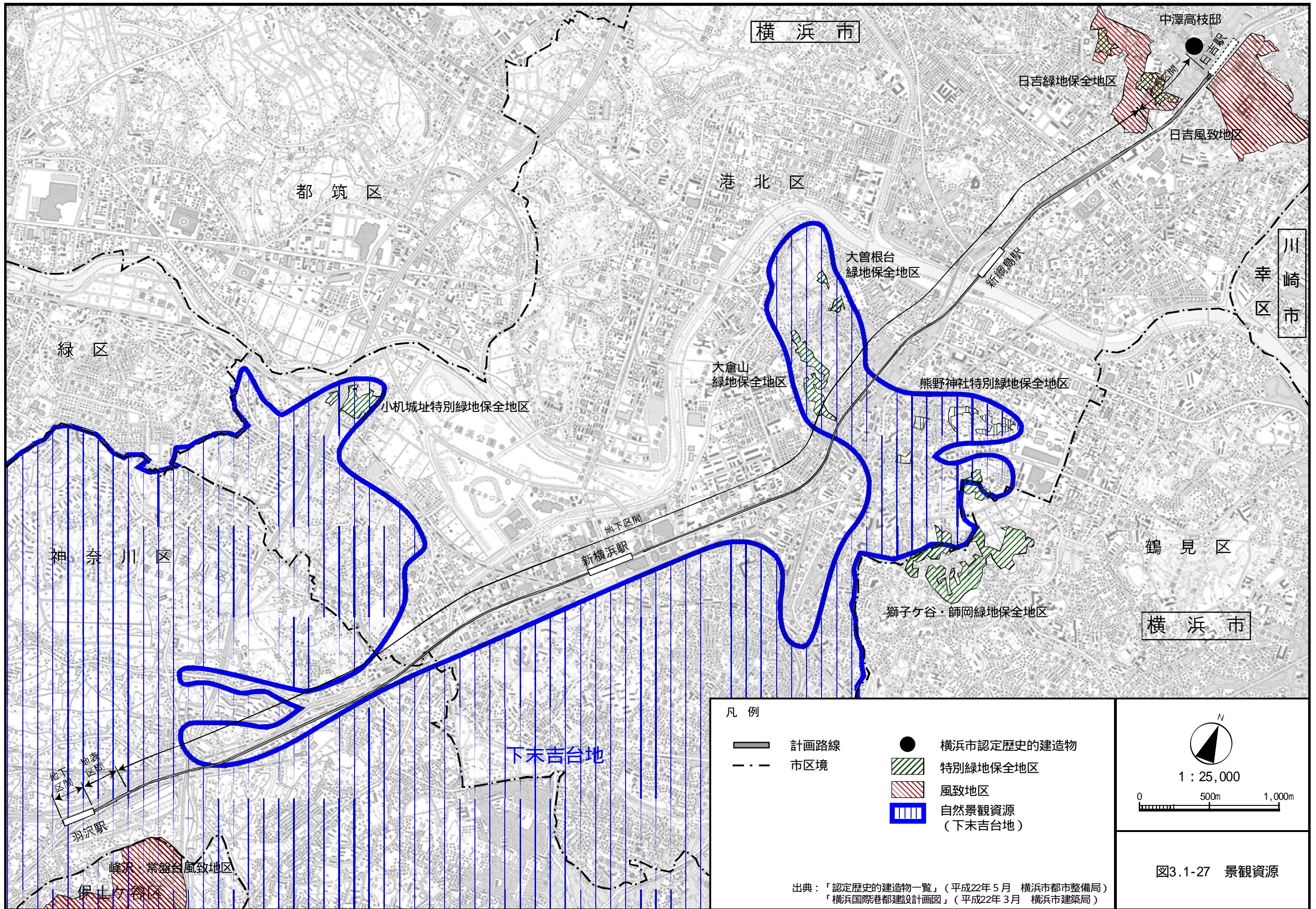
計画路線周辺の景観資源としては、「歴史を生かしたまちづくり要綱」(昭和63年4月1日 横浜市都市計画局)に基づき、「横浜市認定歴史的建造物」に指定されている「中澤高枝邸」が挙げられます。

また、「都市計画法」(昭和43年6月15日 法律第100号)に基づく風致地区として、計画路線周辺には「日吉風致地区」及び「峰沢・常盤台風致地区」が存在します。

さらに、「都市緑地法」(昭和48年9月1日 法律第72号)に定める特別緑地保全地区として、「大倉山緑地保全地区」、「獅子ヶ谷・師岡緑地保全地区」、「大曽根台緑地保全地区」、「日吉緑地保全地区」、「小机城址特別緑地保全地区」、「熊野神社特別緑地保全地区」が存在します。

なお、「第3回自然環境保全基礎調査」(平成元年 環境庁)によると、計画路線周辺では、海成段丘である下末吉台地が自然景観資源として挙げられていますが、計画路線周辺は開発による市街化が進んでいます。

計画路線周辺の景観資源の状況は、図3.1-27に示すとおりです。



(2) 人と自然との触れ合いの活動の状況

計画路線周辺の人と自然との触れ合いの活動の場については、綱島市民の森等の緑地や大倉山公園などの都市公園、遊歩道等が整備されている鶴見川河川敷等が挙げられます。

なお、鶴見川河川敷については、「鶴見川流域水マスタープラン」(平成16年8月 鶴見川流域水協議会)により、市民の水辺とのふれあいを促進するための川辺の散歩道・緑道やサイクリングロードなどの整備・活用の計画が示されています。

また、横浜市では地域的に特徴のある豊かな自然的環境を適正に保全管理し、活用することを目標として、「環境エコアップマスタープラン」(平成10年2月 横浜市緑政局)を策定しており、生物の生息環境に配慮するエコアップの推進を図っています。

計画路線周辺の人と自然との触れ合いの活動の場等は、表3.1-46及び図3.1-28に示すとおりです。

表 3.1-46(1) 人と自然との触れ合いの活動の場(1)

番号	区域	区分	名称	面積(m ²)
K-1	神奈川区	地区公園	片倉うさぎ山公園	35,195
K-2		近隣公園	片倉北公園	11,113
K-3			神大寺中央公園	15,038
K-4			菅田いでと公園	18,819
K-5			街区公園	赤坂公園
K-6		織茂公園		4,681
K-7		片倉公園		709
K-8		片倉第二公園		173
K-9		片倉内山公園		1,025
K-10		片倉内山第二公園		745
K-11		片倉一丁目公園		279
K-12		片倉向原公園		470
K-13		片倉大丸公園		276
K-14		神大寺第一公園		903
K-15		神大寺第二公園		876
K-16		神大寺第三公園		216
K-17		山王森公園		387
K-18		三枚町第一公園		1,047
K-19		三枚町第二公園		345
K-20		三枚町第三公園		1,940
K-21		菅田公園		3,411
K-22		菅田第二公園		218
K-23		菅田第三公園		510
K-24		菅田台町公園		469
K-25		菅田町松葉公園	310	
K-26		菅田利倉公園	500	
K-27		菅田西長谷公園	460	
K-28		菅田日向根公園	862	
K-29		菅田日向根第二公園	237	

出典：「横浜市公園緑地配置図」(平成20年9月 横浜市環境創造局)

「環境地図情報「環境view」」(横浜市行政地図情報提供システム)

表 3.1-46(2) 人と自然との触れ合いの活動の場(2)

番号	区域	区分	名称	面積 (㎡)	
K-30	神奈川区	街区公園	菅田的場公園	555	
K-31			西神大寺公園	3,784	
K-32			羽沢大道公園	982	
K-33			羽沢大道第二公園	221	
K-34			六角橋五丁目公園	873	
K-35			六角橋公園	2,549	
K-36			六角橋六丁目公園	708	
K-37		エコアップ スポット	菅田小学校ビオトープ	-	
K-38			羽沢小学校ビオトープ	-	
K-39			片倉うさぎ山公園	-	
K-40			中丸小学校ビオトープ	-	
K-41	白幡池公園		-		
H-0	港北区	市民の森	獅子ヶ谷市民の森	-	
H-1			綱島市民の森	-	
H-2			熊野神社市民の森	-	
H-3			小机城址市民の森	-	
H-4		市有緑地	牢尻緑地	2,386	
H-5			太尾緑地	309	
H-6			棒田谷緑地	2,096	
H-7			大豆戸緑地	2,693	
H-8			綱島東二丁目緑地	4,426	
H-9		緑道	新田緑道	19,440	
H-10			太尾堤緑道	24,220	
H-11		運動公園	岸根公園	140,587	
H-12			新横浜公園	283,063	
H-13		地区公園	大倉山公園	69,404	
H-14			新羽丘陵公園	745	
H-15			太尾見晴らしの丘公園	23,700	
H-16		近隣公園	新横浜駅前公園	71,382	
H-17			綱島公園	28,819	
H-18			鶴見川樽町公園	13,918	
H-19			師岡町公園	13,000	
H-20			日吉の丘公園	20,000	
H-21			日吉本町綱ヶ崎公園	13,378	
H-22			太尾公園	23,198	
H-23			太尾南公園	9,000	
H-24			街区公園	市ノ坪公園	392
H-25				市ノ坪第二公園	1,105
H-26				大曽根公園	1,578
H-27		大曽根第二公園		1,661	
H-28		大曽根第三公園		4,652	
H-29		大曽根第四公園		850	
H-30		大曽根第五公園		687	
H-31		大曽根南公園		1,151	
H-32		大曽根北公園		1,072	
H-33		神隠公園		847	
H-34		菊名駅前公園		360	
H-35		菊名三丁目公園		1,254	
H-36		菊名町公園		1,381	
H-37	菊名町第二公園	171			

出典：「横浜市公園緑地配置図」(平成20年9月 横浜市環境創造局)

「環境地図情報「環境view」」(横浜市行政地図情報提供システム)

表 3.1-46(3) 人と自然との触れ合いの活動の場 (3)

番号	区域	区分	名称	面積 (㎡)
H-38	港北区	街区公園	菊名七丁目公園	283
H-39			岸根大堀	150
H-40			岸根山王山公園	778
H-41			北大豆戸公園	704
H-42			北大豆戸第二公園	150
H-43			小机町第一公園	1,020
H-44			小机町第三公園	3,802
H-45			小机町第二公園	554
H-46			小机町宮原	1169
H-47			ししがはな公園	361
H-48			篠原町公園	1,250
H-49			篠原町第二公園	274
H-50			篠原町会下谷公園	5,371
H-51			篠原町会下谷第二公園	735
H-52			篠原北一丁目公園	230
H-53			篠原東一丁目公園	192
H-54			篠原東三丁目公園	190
H-55			篠原町表谷公園	1,084
H-56			篠原町ねむのき公園	362
H-57			篠原町坊海道公園	915
H-58			篠原西町公園	8,486
H-59			篠原東二丁目公園	585
H-60			新横浜第一公園	2,644
H-61			新横浜第二公園	802
H-62			新吉田具々田公園	229
H-63			新吉田具々田第二公園	498
H-64			新吉田さんかく公園	936
H-65			新吉田第一公園	1,950
H-66			新吉田第二公園	161
H-67			新吉田第三公園	161
H-68			新吉田町原公園	153
H-69			新吉田吉住公園	343
H-70			高田公園	302
H-71			高田ひまわり公園	683
H-72			樽町一丁目公園	420
H-73			樽町しょうぶ公園	3,992
H-74			樽町札之下公園	173
H-75			綱島上町公園	494
H-76			綱島上町中央公園	1,170
H-77			綱島台公園	814
H-78			綱島西一丁目公園	683
H-79			綱島西六丁目公園	844
H-80			綱島西六丁目第二公園	481
H-81			綱島東二丁目公園	2,207
H-82			綱島東三丁目公園	3,061
H-83			綱島東五丁目公園	1,641
H-84			鳥山池公園	1,395
H-85			鳥山町公園	1,110
H-86			錦が丘公園	170

出典：「横浜市公園緑地配置図」(平成 20 年 9 月 横浜市環境創造局)

「環境地図情報「環境 view」」(横浜市行政地図情報提供システム)

表 3.1-46(4) 人と自然との触れ合いの活動の場(4)

番号	区域	区分	名称	面積 (㎡)		
H-87	港北区	街区公園	新田公園	2,172		
H-88			新羽公園	745		
H-89			新羽町南公園	667		
H-90			東前公園	540		
H-91			東前第二公園	162		
H-92			東大豆戸公園	360		
H-93			日吉本町第三公園	188		
H-94			日吉本町第四公園	1,862		
H-95			日吉本町第五公園	349		
H-96			日吉五丁目第二公園	225		
H-97			日吉本町三丁目公園	482		
H-98			日吉本町三丁目第二公園	273		
H-99			日吉本町檜入公園	330		
H-100			日吉六丁目鏡ヶ淵公園	1,820		
H-101			富士塚一丁目公園	204		
H-102			富士塚一丁目第二公園	309		
H-103			富士塚二丁目公園	1,043		
H-104			太尾町第三公園	1,116		
H-105			大豆戸公園	3,223		
H-106			大豆戸桜田公園	2,797		
H-107			大豆戸塚田公園	802		
H-108			大豆戸堀上第三公園	407		
H-109			大豆戸堀上第二公園	360		
H-110			大豆戸堀上公園	316		
H-111			箕輪諏訪下公園	1,028		
H-112			箕輪諏訪下第二公園	935		
H-113			箕輪諏訪下第三公園	241		
H-114			箕輪町公園	1,001		
H-115			箕輪舟下公園	1,614		
H-116			宮の原第一公園	1,844		
H-117			宮の原第二公園	1,162		
H-118			森戸原第二公園	1,000		
H-119			師岡打越公園	396		
H-120			師岡表谷戸公園	226		
H-121			師岡打越第二公園	938		
H-122			師岡打越第三公園	568		
H-123			師岡表谷戸公園	226		
H-124			師岡仲谷戸第二公園	301		
H-125			師岡南谷戸公園	543		
H-126			師岡南谷戸第二公園	1,198		
H-127			師岡南谷戸第三公園	485		
H-128				矢上川公園	1,640	
H-129				都市公園以外の 神奈川県 の所管公園	篠原園地	-
H-131				エコアップ スポット	岸根公園	-
H-132					城郷小学校ビオトープ	-
H-133					小机小学校ビオトープ	-
H-134					篠原小学校ビオトープ	-
H-135			日吉南小学校ビオトープ		-	
H-136		日吉台中学校ビオトープ	-			

出典：「横浜市公園緑地配置図」(平成20年9月 横浜市環境創造局)

「環境地図情報「環境 view」」(横浜市行政地図情報提供システム)

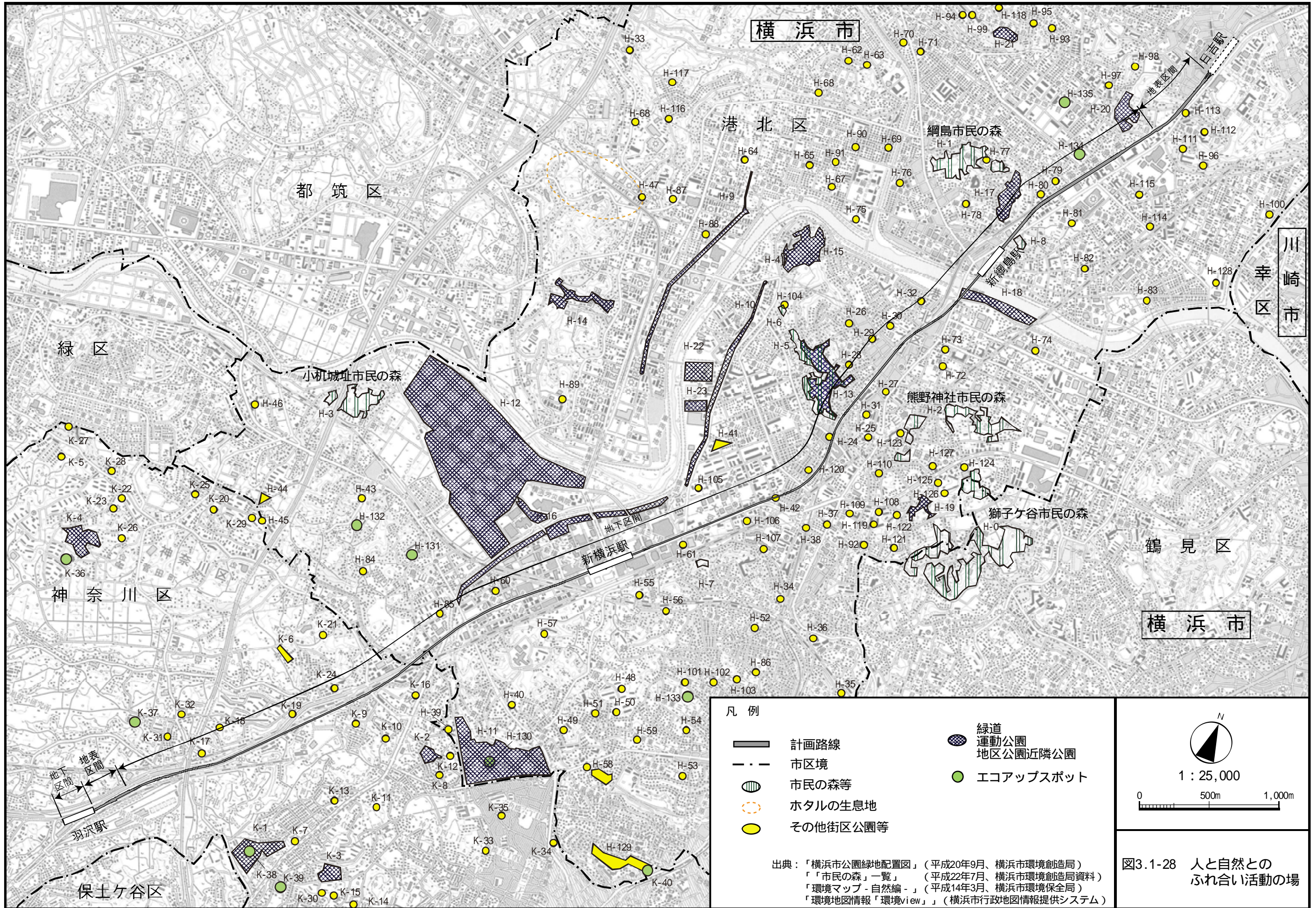


図3.1-28 人と自然とのふれ合い活動の場

